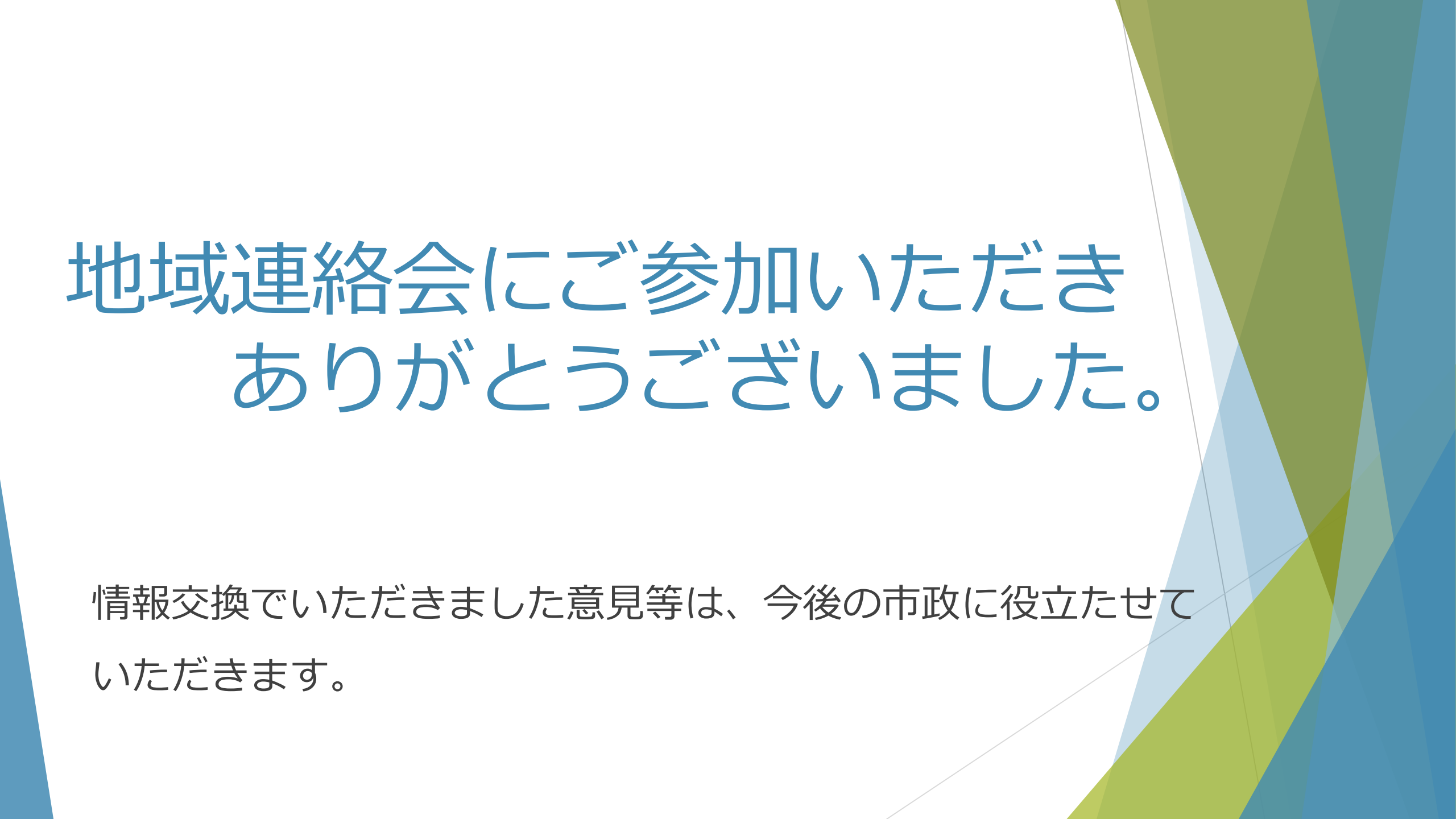


地域連絡会の 実施報告について

令和6年度 地域連絡会



地域連絡会にご参加いただき ありがとうございました。

情報交換でいただきました意見等は、今後の市政に役立たせて
いただきます。

地域連絡会 開催日等

地区	日にち	場所
東部	10月17日（木）	総合スポーツセンター 研修室
西部	11月8日（金）	松原町コミュニティセンター 2階 集会室
中部	10月21日（月）	朝日町高齢者福祉センター 大会議室
南部	10月29日（火）	昭島市役所 市民ホール
北部	10月11日（金）	アキシマエンス校舎棟3階 302会議室

地区は地域包括支援センターの地区割です。

地域連絡会 参加者

(市、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター除く。)

地区	人数	所属内訳
東部	27名	自治会・民生児童委員・社協・金融機関・消防署・郵便局・介護事業所・病院
西部	20名	自治会・民生児童委員・社協・消防署・郵便局・介護事業所
中部	26名	自治会・民生児童委員・社協・消防署・介護事業所・民間事業者
南部	28名	自治会・民生児童委員・社協・消防署・介護事業所・民間事業者・薬局
北部	21名	自治会・民生児童委員・社協・消防署・介護事業所

地域連絡会 当日の内容

- 説明「日本・昭島市の高齢化などの状況、地域連絡会の位置付け・目的」について
- 昭島消防署からのお知らせとお願い
- 地域の実情に関してグループごとに情報交換
- 発表と共有
- 総括

地域連絡会の位置づけ

①、②の2つの会議体から昭島市の地域課題を把握

① 個別地域ケア会議

5つの地域で**要支援・要介護者の支援ケースを中心に**何が地域課題になっているかを話し合い、把握する

※第7期策定時から行っている方法

② 地域連絡会

5つの地域で**要介護認定を受けていない人を中心に**何が地域課題になっているかを話し合い、把握する

☆介護事業所、自治会、民間事業者、医療、福祉、民生委員など
様々な団体が参加します

※令和2年から新たに設定した方法

幹事会（取りまとめ）

地域ケア推進会議

各分野の専門家等で課題について
話し合い、精査する

各分野の専門家等で課題をどのように
介護保険計画に組み込むか話し合う

介護保険推進協議会

情報交換の目的・流れ

目的

参加者に高齢者との関わりのなかで感じたことなどをテーマに沿って自由に話していただき、それを取りまとめることで昭島市に住む高齢者の課題等を把握、分類すること。

テーマ

- ① 地域課題における「必要と思われる社会資源」に対する意見
- ② 高齢者との関わりの中で、高齢者が困っていると思うこと
- ③ 具体的に、どのような支え合いの仕組みがあれば良いか

情報の分類

情報交換で得られた内容は、

- ◆ 令和5年度の地域連絡会で出た意見などを参考に構成した課題
- ◆ 新しい課題を想定した「その他」

の7つの分類で分け、さらに

- ◆ 課題だと思うこと
- ◆ あったら良いと思うこと
- ◆ 現在活用できるサービス・
または知ってほしい取り組みなど

の3つの状態で整理しました。

地域連絡会で使用した分類シート

	I 課題だと思うこと	II あったら良いと思うこと	III 現在活用できるサービス または知ってほしい取り組みなど
1. 認知症に関すること			
2. 地域における見守りに関すること			
3. 活動の場に関すること			
4. 相談窓口に関すること			
5. 医療に関すること			
6. デジタルに関すること			
7. その他、課題だと思うこと			

地域連絡会 結果（全地域）

課題別分類	全体の意見数
1. 認知症に関すること	6 3
2. 地域における見守りに関すること	7 9
3. 活動の場に関すること	6 4
4. 相談窓口に関すること	4 7
5. 医療に関すること	2 9
6. デジタルに関すること	4 1
7. その他、課題だと思うこと	5 0

地域連絡会 結果（全地域）

課題別分類	あると良いものや取り組み（要約）
1. 認知症に関すること	周りが認知症と分かる方法、認サポ受講者の活躍の場、認知症があっても暮らしやすい・オープンにしやすい環境、家族同士の交流の場、認知症カフェの充実
2. 地域における見守りに関すること	外に出られない人を見つける仕組み、多機関のネットワーク、教育の段階から見守りの意識付け、多世代交流の場づくり、特定の高齢者に向けた通いの場づくり、自治会・老人会の活性化、見守り体制の構築
3. 活動の場に関すること	送迎サービス、子供に高齢者が関われる仕組み、移動スーパーの活用、活動の場の提供、情報発信
4. 相談窓口に関すること	情報をまとめた冊子、わかりやすい申請や手続き 気軽・身近に相談できる窓口、夜間や休日も開いている窓口、病院にかかった後の相談窓口、なんでも相談窓口
5. 医療に関すること	医療と福祉の連携、福祉車両の貸出、救急車を呼んだ時の対応の統一、病院にかかった後の案内、医療機関情報の取得、救急医療キットの普及近所、自治会への共有
6. デジタルに関すること	スマホ講座、ITを活用したつながり、情報共有システム、スマホ専用の相談窓口、買い物システム
7. その他、課題だと思うこと	乗り合わせを含む移送サービス、近所に買い物ができる場所、高齢者限定配送サービス、ゴミ整理と処分の手伝い、行政と市民のパイプ役

地域連絡会 東部地区 課題別意見

課題別分類	全体の意見数	意見例
1. 認知症に関すること	11	認知症かとも思ってもどこに繋がたらよいかわからない 金融機関との連携ができると良い
2. 地域における見守りに関すること	19	高齢者世帯を狙った事件に不安を感じている人が多い 自治会・町会加入者が減っている
3. 活動の場に関すること	12	移動スーパーの活用 活動の場に行くための移送サービスがあると良い
4. 相談窓口に関すること	12	支援者側への情報共有、連携体制があると良い 身寄りのない方に対する専門窓口があると良い
5. 医療に関すること	13	必要な医療機関情報を高齢者が得られていない 市報等で誰もが手にできる情報シートの配布があると良い
6. デジタルに関すること	14	スマホの操作に関する質問先が分からない 情報が入らないと孤立化してしまう
7. その他、課題だと思うこと	8	高齢者世帯の火災が心配 自宅近くにポストがあると良い

地域連絡会 東部地区 グループ別意見

グループ	意見例
A	・サロンが月1回ではなく、常時空いてほしい。 ・移動スーパーが増えたら良い。 ・ゴミを収集場所まで出せない。ゴミ出しの時間帯が厳しい。
B	・自治会の加入率が低い。郵便物の処理ができていない。 ・ゴミ出し、片づけができない。 ・「なんでも相談してほしい」と伝えることで、話せる機会が増える。
C	・町会の加入が減っている、高齢になって抜けてしまう人がいる。 ・見守り活動時に、オートロック付きマンションだと会うことができない。 ・認知症サポーターの活用があまりできていない。
D	・身寄りのない方の相談が増えている。認知症の当事者から相談につなげるのが難しい。 ・病院までの移動手段がなく困っている。 ・自治会長のなり手不足。ボランティアに協力できる人が減っている。
E	・介護や高齢化で自治会の役員ができない、加入を進めるエネルギーがない。 ・アンテナが張れない人、どこに相談していいかわからない人にどのように情報を届けるか。 ・民生委員・CM等関わっていれば情報があるが、地域との関わりがない人に必要な情報が得られない。

地域連絡会 西部地区 課題別意見

課題別分類	全体の意見数	意見例
1. 認知症に関すること	13	困っていることがわかるようなマーク等があると良い 困っている人を発見してもどこにつなげたら良いか分からない
2. 地域における見守りに関すること	17	高齢独居で災害時等何かあったときに心配 見守り体制の構築、関係機関との連携強化が必要
3. 活動の場に関すること	14	認サポ受講後の活動の場がない 防災組織に必ず加入するようにして地域のつながりを作ると良い
4. 相談窓口に関すること	10	気軽に立ち寄れるような相談窓口があると良い 相談窓口の周知が必要
5. 医療に関すること	2	救急時の緊急連絡先が分からない 救急医療情報キットの普及
6. デジタルに関すること	3	高齢者はデジタル機器が難しい アナログな手段を残した方が良い
7. その他、課題だと思うこと	15	若い世代への福祉教育、企業との連携があると良い 地域で意見交換できる場が増える则良い

地域連絡会 西部地区 グループ別意見

グループ	意見例
A	•入院した・亡くなった等の情報が必要なところに提供できる仕組みがあると良い。 •社会資源が一覧にまとまっているものがあると良い。 •青信号の間に横断歩道を渡りきれないことがある。
B	•認知症の方は見た目では分からないので、トラブルになることがある。 •自治会加入者の減少、近所付き合いの希薄化が進んでいる。 •窓口がお堅いイメージがあるため、窓口に行くハードルが高くなっている。
C	•若い時から年齢を重ねることに嫌悪感を持たない社会になってほしい •認サポ受講後の活動の場がない。 •高齢化社会について話す場がほしい。
D	•都営住宅の高齢化。民生委員とのコミュニケーションがなかなか取れない。 •自治会員が高齢化。新しい担い手がいらない。役割が回ってくると会を抜けてしまう。 •段ボールゴミの回収日を増やしてほしい。

地域連絡会 中部地区 課題別意見

課題別分類	全体の意見数	意見例
1. 認知症に関すること	12	認知症カフェが常設であると良い 認知症予防（健康マージャンなど）にもっと力をいれるべき
2. 地域における見守りに関すること	16	学生ボランティア活動など、ゴミ出し助け合いの仕組みがあると良い 社会とのつながりがない方の困りごとを把握しづらい
3. 活動の場に関すること	8	サロン・デイ等知らない人の中に入ることはハードルが高い 活動の場へつなぐ人や移動手段があると良い
4. 相談窓口に関すること	9	夜間でも支援できる仕組みがあると良い 公的な書類の扱いがわからない、相談窓口の周知が不足している
5. 医療に関すること	6	救急隊を呼んだ際に同乗できないときの対応策があると良い 近隣住民や自治会防災担当者との情報共有があると良い
6. デジタルに関すること	7	高齢者が詐欺メールに騙されてしまう 無料でタブレットを貸与して簡単に買い物できるシステムがあると良い
7. その他、課題だと思うこと	18	高齢男性（独身）が社会と関わりやすくなるような仕組みがあると良い 介護保険サービスの利用有無に関わらず、多職種と連携できる仕組みがあると良い

地域連絡会 中部地区 グループ別意見

グループ	意見例
A	• 常設してある認知症カフェがあると良い。 • 夜間対応できるところがないので救急車を呼んでしまう。 • 高齢者が戸惑っているときすぐに対応してほしい（キャッシュレス、タッチパネル、マイナンバーカード等）
B	• 認知症予防にもっと力を入れてほしい。高齢男性が引きこもりがち。 • 移動スーパーが少ない。ケアマネの人員不足。 • 介護者の負担を減らす社会資源があると良い。
C	• 定期的に電話や訪問をする仕組みがあると良い。 • 買い物が困難。電話で購入できるサービスがあると良い。 • 民生委員が地域の状況を把握しづらくなった。
D	• 詐欺メールの判断ができない人がいる。 • 人材バンクを市・社協で連携して整備。急な対応できるような仕組みづくり、人材育成。 • 地域作りをするにあたっての行政からの具体的な方針が欲しい。

地域連絡会 南部地区 課題別意見

課題別分類	全体の意見数	意見例
1. 認知症に関すること	1 1	近くに脳トレ※1ができる場所があると良い 認知症の方のための緊急ブザーがあると良い
2. 地域における見守りに関すること	8	自治会に加入していない人が多い 子ども食堂だけでなく高齢者食堂があると良い
3. 活動の場に関すること	1 6	検診をきっかけに外出する仕組みがあると良い 活動の場が1つ常時あると良い
4. 相談窓口に関すること	1 4	家の中でも防災無線が聞こえる仕組みがあると良い 高齢者だけでなく色々な人が相談できる場所があると良い
5. 医療に関すること	5	身近に地域でちょっとしたことを相談できるところがない
6. デジタルに関すること	8	アプリを入れる・QRコードを読み取る等ができない人が多い 地域でスマホ教室を開催して交流する機会があると良い
7. その他、課題だと思うこと	6	自治会の加入率が少ないため自治会の防災訓練が少ない バスが通らない地域で移動スーパーやキッチンカーがあると良い

※1 大神会館にて「晴ればれ脳トレ体操」が開催されている

地域連絡会 南部地区 グループ別意見

グループ	意見例
A	・身なりにかまわない人が来ているが、どこに相談したらよいかわからない。 ・引越しをしても挨拶がない。自治会加入していない人が多い。若い人が加入していない。 ・身近に地域でちょっと立ち寄って相談できるところがない。スマホが使えない人が多い。
B	・気軽に行けるサロンのようなところがあって、付き添ってくれるボランティアさんがいたら社会参加できる。 ・地域の電気屋さんがなくなった。気軽にお願ひできるよろず屋さんがいて安価にやってもらえると助かる。 ・独居の人に行政や社協から資源の周知、声掛けをしてほしい。
C	・ゴミが捨てられない場面をよく見る。簡単に捨てられる環境があると良い。 ・相談できる場所がどこかわからない。高齢者だけでなく、垣根を越えて色々な人が相談できる場所が欲しい。 ・夜間にベツトから落ちた等病気やけがではなく110番に通報がある。
D	・誰かとつながりたい。活動の場が1つ常時あると良い。 ・出かけるには足がない。送迎があれば活動の場に出られる。送迎手段が課題。 ・CM・民生委員・自治会も情報を持っていると伝えられる。情報共有できる場とつなげる先をたくさん知りたい。
E	・認知症の方について近所の方から相談されてもどこに繋げたら良いかわからない。相談窓口の周知、PRが必要。 ・上川原町や中神町はAバスが走っておらずどこに行くにも歩いて15分～20分ほどかかる。 ・近所のスーパーにフードコートのような場所があると良い。

地域連絡会 北部地区 課題別意見

課題別分類	全体の意見数	意見例
1. 認知症に関すること	16	家族が認知症であることを周りに知られることを嫌がる イベント事の時など、認知症に関する簡単なチェックができると良い
2. 地域における見守りに関すること	19	地域の人が苦なく集まることができる場所があると良い ボランティア部の発足等、子供の時からお年寄りと関わる機会をくれるとよい
3. 活動の場に関すること	14	運動できる場所、気軽に集まれる場所があると良い 居場所を作ることが難しい高齢者がいる
4. 相談窓口に関すること	2	相談窓口について知らない方がいる
5. 医療に関すること	3	通院時の移送手段が増加すると良い 救急車を呼ぶことに抵抗があり代わりに介護タクシーを呼ぶ高齢者がいる
6. デジタルに関すること	9	スマホの使い方がわからないとき、すぐに相談できる場所があると良い 高齢の方のみが使う機能をつけたスマホを販売してほしい
7. その他、課題だと思うこと	3	独居で身寄りがないかたについて緊急時の連絡時の情報把握ができない 老人ホームの相談、特養に入るほどではないが在宅生活に不安を覚える高齢者が増えている

地域連絡会 北部地区 グループ別意見

グループ	意見例
A	・認知症について家族が周りに知られるのを嫌がる。認知症についての普及活動が必要。 ・関わりを拒否する人との関係づくりが課題。普段の声掛け、近所の関わりが必要。 ・運動できる場所、気軽に集まれる場所があると良い。支援者同士のつながりを持てる。
B	・閉じこもりの方について支援しづらい。自治会等地域の見守り体制が弱まっている。 ・無料で使える施設は地域差があるためサロン開催の場所の偏りがある。無料で使える集まれる場所があると良い。 ・独居で身寄りがない方について緊急時の情報把握ができない。介護認定を受けていない方の支援が課題。
C	・自治会の加入率が低い。介護タクシーの利用者は増えたが、なり手は増えない。 ・ゴミ出しが難しい高齢者がいる。居場所を作ることが難しい高齢者がいる。 ・高齢の方のみ使う機能をつけたスマホを販売してほしい。機能を制限した分価格は安くしてほしい。
D	・徘徊をする人ほど自治会に入っていない。サポーターの支援、市民の支えが必要。 ・老人クラブはサークルに参加できる人はいいが、サークル活動ができなくなると抜けてしまう ・歩行が難しくなると買い物も難しくなる。ネットスーパーや生協など色々な資源があっても利用しきれない。